

生体反応および生命維持機構検出システム研究促進事業

(文部科学省先端研究施設共用促進事業)

大学の設備を使ってあなたの企業を發展させてみませんか？

公募のご案内

広島大学自然科学研究支援開発センターの生命科学機器分析施設が有する先端設備をより多くの企業、研究機関、大学等にご利用していただき、多くの成果を社会へ還元するためのモデルとして、本事業を2009年に開始し、継続しています。

この事業は、文部科学省の先端研究施設共用事業の一つであり、大学・独立行政法人等の研究機関等の保有する先端研究施設の共用を促進し、基礎研究からイノベーション創出に至るまでの科学技術活動全般の高度化を図るとともに国の研究開発投資の効率化を図る事業として運営しています。

民間企業様には、一定期間無償で利用していただけるトライアルユースの

制度を用意しています。 **利用料金を考えずに、まずは使ってみてください。**

震災で被害を受けられた研究機関の支援も積極的に行っています

公的な研究期間からの利用も大歓迎です。

- 装置を利用にあたっては、「施設共用技術指導研究員」が基礎から技術支援を行います。
- 研究課題への提案・ご利用には、専門の「共用促進リエゾン担当員」が丁寧に対応させていただきます。
- 貴施設の企業秘密や非公開のデータへの対応体制も整えています。
- 各装置の依頼測定も行います。

◎まずは、お気軽にご相談下さい◎

HP : <http://nbard.hiroshima-u.ac.jp/>

ご希望の研究や提案などあれば、何でもご遠慮なく当施設までご相談下さい！

現在は、下記の5つの装置を主にご紹介しております。また、依頼測定も行っています。

(他にも、様々な機器を有しており、ご希望に応じて御相談ください。)

- マイクロアレイ解析装置 (GeneChip Scanner3000TG)
- 細胞採取装置 (Ti-U-Ph-1)
- 質量分析装置 (QSTER XL)
- セルソーター (FACSAria II SORP)
- 核磁気共鳴装置 (NMR AVANCE600)

これらの機器を連動して使用していただき、有意義な成果を出しています

↓↓↓↓詳細は当HPでもご覧いただけます。↓↓↓

http://nbard.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=54

当施設が有している先端機器の利用については、下記のとおり募集しております。

■募集期間 平成23年9月1日(木)～平成24年12月22日(木) **※期間終了後も随時募集!**

■対象者 企業(個人営業者を除く)、研究機関、大学

■利用期間 利用開始日から6ヶ月以内(6か月以上の利用に関しては、再度申込みすることで継続使用は可能です)

■応募方法 下記、詳細ページをご参照ください。

■問合せ先 広島大学 自然科学研究支援開発センター

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 霞総合研究棟108号室

TEL: 082-257-1599 E-mail: sentannb@hiroshima-u.ac.jp

HP: <http://nbard.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学東京オフィス

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパスイノベーションセンター409号室

TEL: 03-5440-9065

E-mail: liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

HP: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/liaison/index.html>

また、文部科学省共用ナビからもご覧になれます。

<http://kyoyonavi.mext.go.jp/>